

ジョーン・クロフォード

Joan Crawford

ルシール・フェイ・ルスール ☒ Lucille Fay LeSueur

生年月日 1905/03/23

出身地 アメリカ／テキサス州サンアントニオ

没年 1977/05/10

ダグラス・フェアバンクス・J r (元夫)

関連人物 フィリップ・テリー (元夫)

フランチョット・トーン (元夫)

【バイオグラフィ】

■本名はLucille Fay LeSueur。生れてまもなくカンザスに移住。ウェイトレスなどをしていた19の時、チャールストン・ダンスのコンテストに入賞したことからダンサーとなり、デトロイトなどを経てブロードウェイのレビュー団に入団。その後MGM幹部に見出され、本名ルシール・フェイ・ルスールの名で25年「美人帝国」映画デビュー。同年の「古着屋クーガン」出演が好評を得たためMGMは彼女を売り出す事に本腰を入れ、映画雑誌で芸名を公募。「三人の踊子」からはジョーン・クロフォードとなった。28年「踊る娘達」で脚光を浴び、翌年彼女のトーキー第一弾となった「ハリウッド・レビュー」では歌やダンスを披露して喝采を受けた。この頃からマネー・ランキングにも顔をだすようになり、32年にはガルボと「グランド・ホテル」で共演。38年頃には年間90万通のファンレターがあったと言う。45年、WBに移り「ミルドレッド・ピアース」でアカデミー主演賞を受賞。62年「何がジェーンに起きたか？」ではベティ・デイヴィスと共演して健在振りをアピール。以降はホラー作品に出演。29年、ダグラス・フェアバンクス・J rと結婚。33年離婚後は35年フランチョット・トーン、42年、フィリップ・テリーと再婚後（一児あり）、56年当時のペプシ・コーラ社長と四度目の結婚をした。59年の夫の死後はペプシの副社長に就任したこともある。養子も3人いてそのひとりが書いた自叙伝は後に「愛と憎しみの伝説」として映画化された。77年死亡。

【フィルモグラフィ】

地底の原始人・キングゴリラ (1970)	出演 : ブロックトン博士
四次元への招待 (1970)	出演
四次元への招待 (1969)	出演
姿なき殺人 (1967)	出演 : モニカ・リヴァース
0011 ナポレオン・ソロ／ミニコプター作戦 (1967)	出演 : アマンダ・トゥルー
妖艶美女大全集／銀幕の女神たち (1965)	出演
血だらけの惨劇 (1963)	出演
THE CARETAKERS (原題) (1963)	出演
何がジェーンに起きたか? (1962)	出演 : ブランチ・ハドソン
大都会の女たち (1959)	出演
光は愛とともに (1956)	出演
枯葉 (1956)	出演 : ミリー・ウェザビー
大砂塵 (1954)	出演
突然の恐怖 (1952)	出演
悪党は泣かない (1950)	出演
美しさ故に (1949)	出演

失われた心 (1947)	出演
哀しみの恋 (1947)	出演
ユーモレスク (1946)	出演
ミルドレッド・ピアース (1945)	出演 :ミルドレッド・ピアース・ベラゴン
ハリウッド玉手箱 (1944)	出演
再会のパリ (1942)	出演
女の顔 (1941)	出演
花嫁は紅衣装 (1937)	出演
真珠と未亡人 (1937)	出演
空駆ける恋 (1936)	出演
豪華一代娘 (1936)	出演
結婚十分前 (1935)	出演
私の行状記 (1935)	出演
男子牽制 (1935)	出演
蛍の光 (1934)	出演
私のダイナ (1934)	出演
ダンシング・レディ (1933)	出演
今日限りの命 (1933)	出演
グランド・ホテル (1932)	出演 :フレムヒエン
雨 (1932)	出演
令嬢殺人事件 (1932)	出演
笑ふ罪人 (1931)	出演
蜃気楼の女 (1931)	出演
暗黒街に踊る (1931)	出演
モンタナの月 (1930)	出演
デパートの横顔 (1930)	出演
暴露戦術 (1930)	出演
若殿頑張る (1929)	出演
花嫁修業 (1929)	出演
ハリウッド・レビュー (1929)	出演
ローズ・マリー (1928)	出演
シンガポール (1928)	出演
四つの壁 (1928)	出演
踊る娘達 (1928)	出演
荒野の勝利者 (1927)	出演
密輸入者の恋 (1927)	出演
荒原の勝利者 (1927)	出演
知られぬ人 (1927)	出演
踊る英雄 (1926)	出演
初陣ハリー (1926)	出演
巴里 (1926)	出演
古着屋クーガン (1925)	出演
三人の踊子 (1925)	出演

